

ケニ スL.ジェンキンス (ペンテコステ派教会の司祭及び 老 アメリカ合 /3)

:

明:

一度は り かれた少年がペンテコステ教会を通して、そして20 で司祭に任命されたことにより彼の
救いを し、 にムスリムとなる。パ ト1

目: [事新改宗者ムスリムの逸 者と宗教的 威](#)

より: ケニ スL.ジェンキンス

日 06 Dec 2009

集日 12 Dec 2009

前 き

キリスト教教会の元司祭、そして 老として、暗 の中を き ける人々を教え、 くことが私
の となりました。そしてイスラ ムに改宗した に私は、イスラ ムの光を するという祝福
をまだ受けてはいない人々を助ける差し迫った必要を感じたのです。

私に慈悲をお与えになられ、 言者ムハンマドと正しく かれた彼の信者 によって教えら
れた通りに、私がイスラ ムの美しさを知るよう いて下さった全能の神に、私は感 しま
す。私 は、真の きと 世と来世での成功へと く正しい道に う力を、神の慈悲のみにより
授かるのです。

シェイフ アブドゥッラ ビン アブドルアズィ ズ

ビン バズが、私のイスラ ムへ 依の に示した しさに、神の称 あれ。私は、彼との 回の会
で得た知 を大切にしてゆくことでしょう。励ましと知 で私を助けてくれた人は他にも
山いますが、その内の かをうっかり省いてしまうことを避けるため、彼らの名をここ

に 述しようとすることは自 します。私は、私のムスリムとしての成 と 展のための役割に供することを神によって された各兄弟 妹ゆえに、全能の神に感 します。

また私はこの短い 事が、全ての人の利益となることを祈ります。そして、キリスト教世界の大部分にはびこる理不尽な状 にもまだ希望があるということ、キリスト教徒が つけ出すことを います。キリスト教徒の に する答えは、大抵の 合彼ら自身の の根本であるので、キリスト教徒自身では つけられないのです。しかしイスラ ムこそは、キリスト教世界を苦しめ、同 にいわゆる宗教全体が直面している の解 策です。神が私 全てを き、私 の最善の行いと意 により われますように。

サウジアラビア王国はタ イフにて

アブドゥッラ ムハンマド アル=ファ ル ク

はじめに

私は少年の 、神への深い畏れをもって育てられました。 折ペンテコステ派原理主 者の祖母に育てられたこともあり、教会は私の人生の早い段 で重要な部分となりました。

そして6 になった には

、良い子であれば天国で素晴らしいことが私を待っており、またいたずらな子には地での が待っているということ、余りにもよく知っていました。私は祖母に、嘘つきは皆地 の永 に燃え盛る 火へ行く 命だ、と教えられたものです。私の母は、フルタイムの仕事を け持ちしながら、彼女が彼女の母から教わった教えを私にも教え けました。私の弟と は、私ほど真 に祖母の警告を受け止めている 子はありませんでした。私は、月が赤く血のようになるのは世界の わりの1つの であると教えられたので、 月が赤みの深い色合いを びると泣き始めたこと思い出します。私は8 の子供ながら、天地に 出した最 の 判の日の のように思えたことに恐怖心を募らせていくようになり、 に 判の日がどのようになるか を たほどだったのです。私 の家は 路の集まる近くで、 が 繁に通 しました。私は、 の汽笛の恐ろしい音により眠りから起こされ、死 にトランペットの音を いた 、 活させられることを考えていたのを思い出せます。これらの教えは口 での教

えと、物として知られている子供の文集をんだことから私の幼い心に染み付きました。

日曜日、私はみな良い服装で教会へ行きました。私の祖父が私を送ってくれたものです。教会は私にとって、何もくように思われました。私は午前11 到着し、そしてには午の3 までらないこともありました。私は、祖母の膝の上で何度も眠ったことをえています。一度、弟と私は、祖父と道の操にが通るのをるために、日曜学校と朝の礼の、教会を出ることをされました。彼は教会に通う人ではありませんでしたが、日曜日、私の家族がそこに行けるようにしてくれたのでした。その、彼は部分的麻を残す卒中を患い、その果私は教会へ定期的に出席することが出来なくなりました。この期が私の成の最も重要な段でした。Rededication再献身

私はある意味、教会に出席することが出来ないことに安心していましたが、に自分で行こう、と感じることがありました。そして16 の、友の父が牧をしている教会に出席し始めました。それは私の友の家族、私、そして他の学友だけがメンバの小さな店の建物でした。それはその教会がするまでの数か月だけきました。それから私は高校を卒して大学に入学し、自分の宗教を再し、ペンテコステ派の教えに完全に中になりました。そして洗礼を受け、そのが当そう呼ばれていたように「でたされた」のです。皆は私に高い期待を抱き、私は再び“救いの道”にあることを喜んでいました。私が教会に出席するたびに、そのはきました。私はその、日を勉しました。当のキリスト教学者によるに出席し、20 のには司祭への要を受けました。私は教を始め、あつというに知られるようになりました。私は非常に独断的で、私の教会のグループでない限り、も救いを受けられないと信じていました。そして私が神を知るようになった方法でかれを知ったのではない者は、みな断定的に非しました。私はそれ以前イエスキリスト（神の慈悲と祝福が彼にありますように）と全能の神は1つで、同じであると教わっていました。しかし私の教会は、三位一体を信じてはいないものの、イエス（神の慈悲と祝福が彼にありますように）は事上の父であり、子であり、だと教わりました。それを理解する努力をしましたが、完全には理解出来なかったとめなければなりません。私の知る限り、それが唯一、私にとって意味をなす教でした。私は、女性の神な

服装や、男性の敬虔な行 を していました。私は女性が完全に衣 で彼女らを覆い、化 をせず、彼女 自身をキリストの真の大使としてふるまうように、という教 を 教することを しました。私は疑いの影を超えて、ついに永 の至福への真 の道をつけたのだと 信じていました。他の教会の った信仰を持つあらゆる人と し、自分の の知 で彼らを完全に沈 させました。

私は何百もの の を暗 し、そしてこれは私の 教のトレ ドマ クとなりました。しかし、正しい道にいると 信を感じていたにも わらず、どこかでまだ探していたのでした。成される更に高い真 があるように感じていたのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/73>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。